

国際研究集会のご案内

東京大学史料編纂所では、中国国家博物館（北京市）との間で倭寇と倭寇図像をめぐる共同プロジェクトをおこなっています。今年も、北京から陳履生副館長らを招聘し、下記の日程で国際研究集会を開催いたします。

2010年・2011年度の研究成果により、本所所蔵『倭寇図巻』・中国国家博物館所蔵『抗倭図巻』の性格は次第に明らかになってきました。今回は、これまでの研究でなにごとどこまで明らかになったかについて、現地調査の成果も交えた中間報告を行なうとともに、中国国家博物館所蔵『平番得勝図巻』をとりあげます。『平番得勝図巻』は、萬暦年間の甘粛における番族平定を描いたもので、嘉靖年間の江南における倭寇退治を描いた『倭寇図巻』『抗倭図巻』を生み出した晩明社会の動向を考える素材ともなるものです。

ご関心をお持ちの方、ぜひ御参加ください。

倭寇と倭寇図像をめぐる国際研究集会

日時：4月2日(火)、14:00～17:00

会場：史料編纂所・大会議室(福武地下1階)

【報告】

「はじめに～倭寇図巻研究の現在」…須田牧子(東京大学史料編纂所)

「乍浦・沈荘の戦い再考：『抗倭図巻』の虚実にせまる」
…山崎岳(京都大学)

「『平番得勝図巻』考略」…朱敏(中国国家博物館)

「『平番得勝図巻』における標題」…陳履生(中国国家博物館)

※終了後、レセプションを予定。

共催/東京大学史料編纂所・
附属画像史料解析センター



本研究集会は、共同利用共同研究拠点研究「日本史史料の研究資源化」の特定共同研究として行われます。特定共同研究「倭寇像の比較研究」/画像史料解析センター「倭寇画像」PJ(研究代表者：須田牧子)
科研費基盤研究A「ロシア・中国を中心とする在外日本関係史料の調査・分析と研究資源化の研究」(研究代表者：保谷徹)